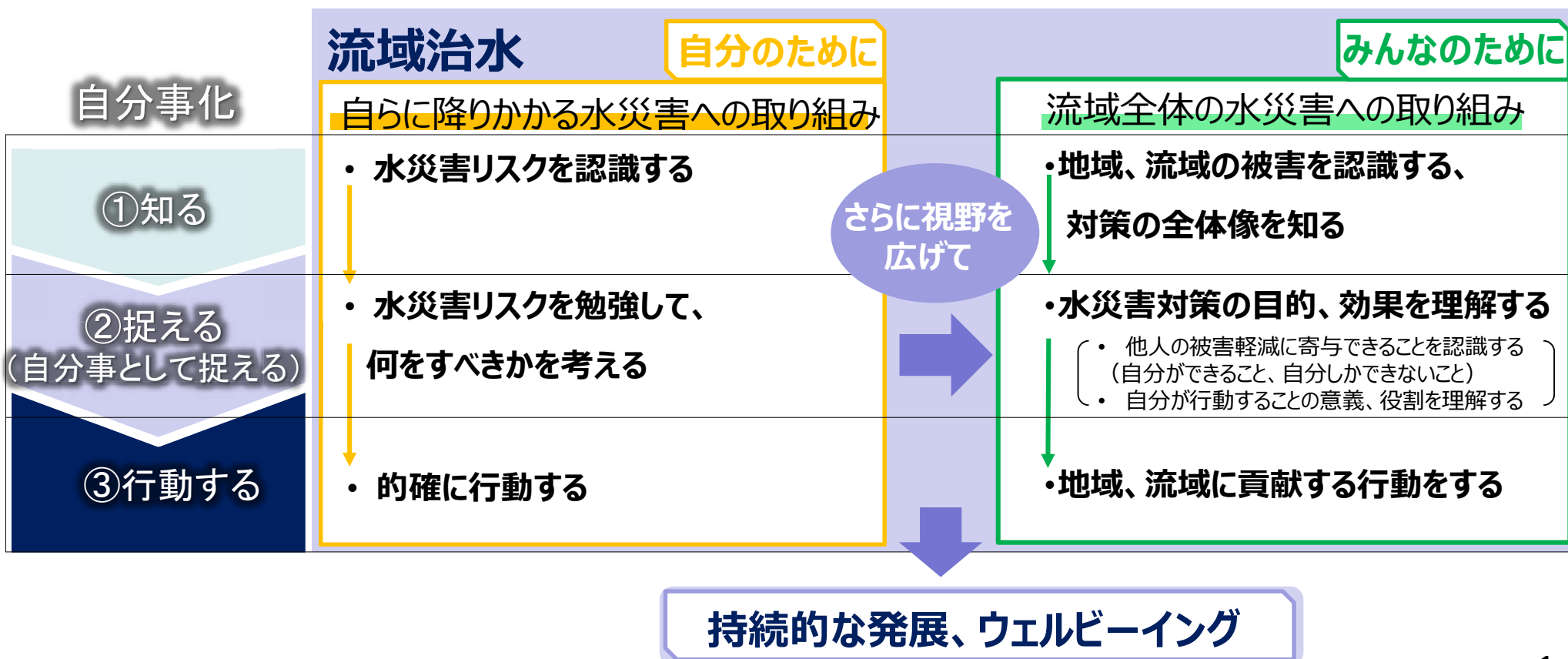




水災害を自分事化し、総力を挙げて流域治水に取り組む

- 住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。



熊野川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

※減災協議会の取組

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 地区タイムラインの活用
(紀宝町)

教育活動

- 防災教育・啓発活動等の推進
(紀南河川国道事務所、和歌山
地方気象台、奈良地方気象台、
津地方気象台、三重県、奈良県、
和歌山県、新宮市、熊野市、五
條市、紀宝町)

訓練活動

- 洪水ハザードマップの周知及び住民の
水害リスクに対する理解促進の取組
(熊野市、田辺市、新宮市、紀宝町)
- 要配慮者利用施設における避難の実
効性確保 (流域の県・市町村)

水防活動の支援

水災害対策の支援

- 水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備
(紀南国道事務所)

水災害、流域治水の
広報

リスク情報等の提供

- 水害リスク空白域の解消
(三重県、奈良県、和歌山県)
- 洪水ハザードマップの作成
(熊野市、田辺市、新宮市、紀宝町)

計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計
画の作成促進 (流域の県・市町村)
- 土地利用規制・誘導(災害危険区域等)
(田辺市、新宮市、紀宝町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について
知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる
きっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ
れるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む
主体が増える

取り組み・主対象		短期	中長期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		
	◎連携活動 紀宝町	地区タイムラインの活用	
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 三重県、奈良県、和歌山県	水害リスク空白域の解消	
	熊野市、田辺市、新宮市、紀宝町	洪水ハザードマップの作成	
	◎教育活動 紀南河川国道事務所、和歌山地方気象台、奈良地方気象台、津地方気象台、三重県、奈良県、和歌山県、新宮市、熊野市、五條市、紀宝町	防災教育・啓発活動等の推進	
	◎訓練活動 熊野市、田辺市、新宮市、紀宝町	洪水ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組	
	流域の県・市町村	要配慮者利用施設における避難の実効性確保	
③ 行動を誘発する	◎計画策定 流域の県・市町村	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進	
	田辺市、新宮市、紀宝町	土地利用規制・誘導（災害危険区域等）	
	◎水災害対策の支援 紀南河川国道事務所	水害リスクマップ（浸水頻度図）の整備	
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体		